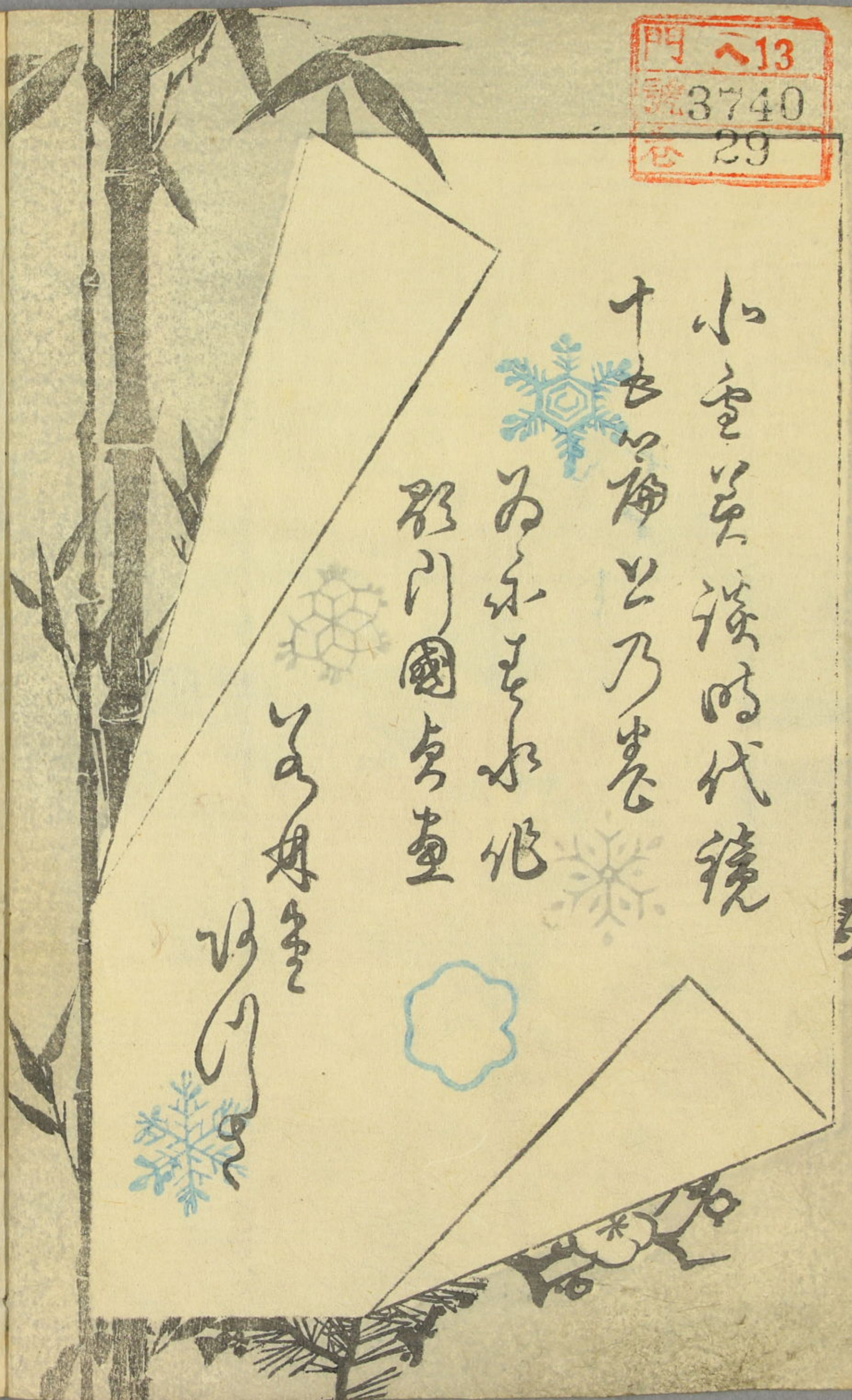


門 へ13
 號 3740
 卷 29

小重 後時代鏡
 十古の梅と乃出巻

あふも水化
 那門國名畫

りあ母き
 びん



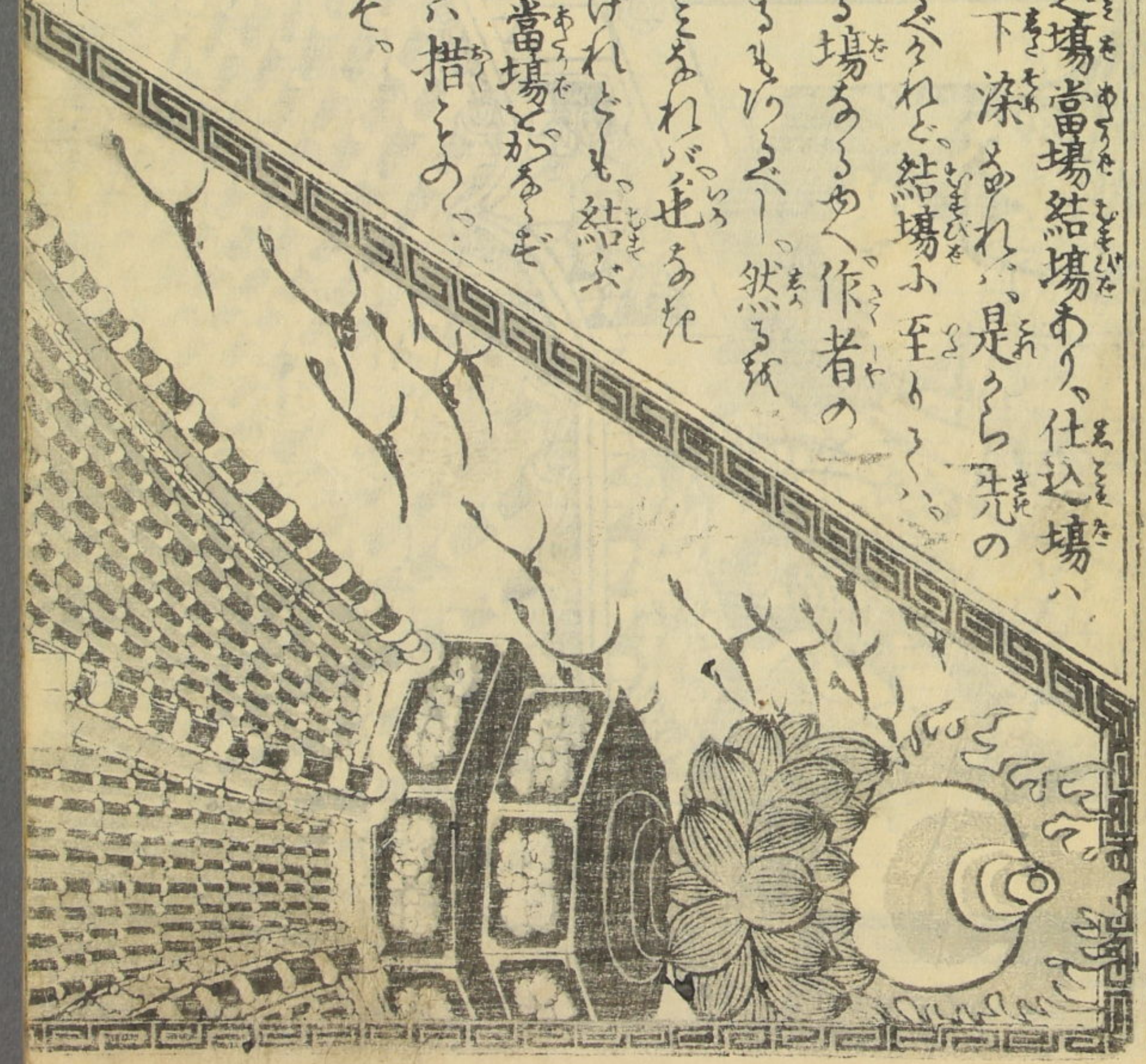
三十二 一 命

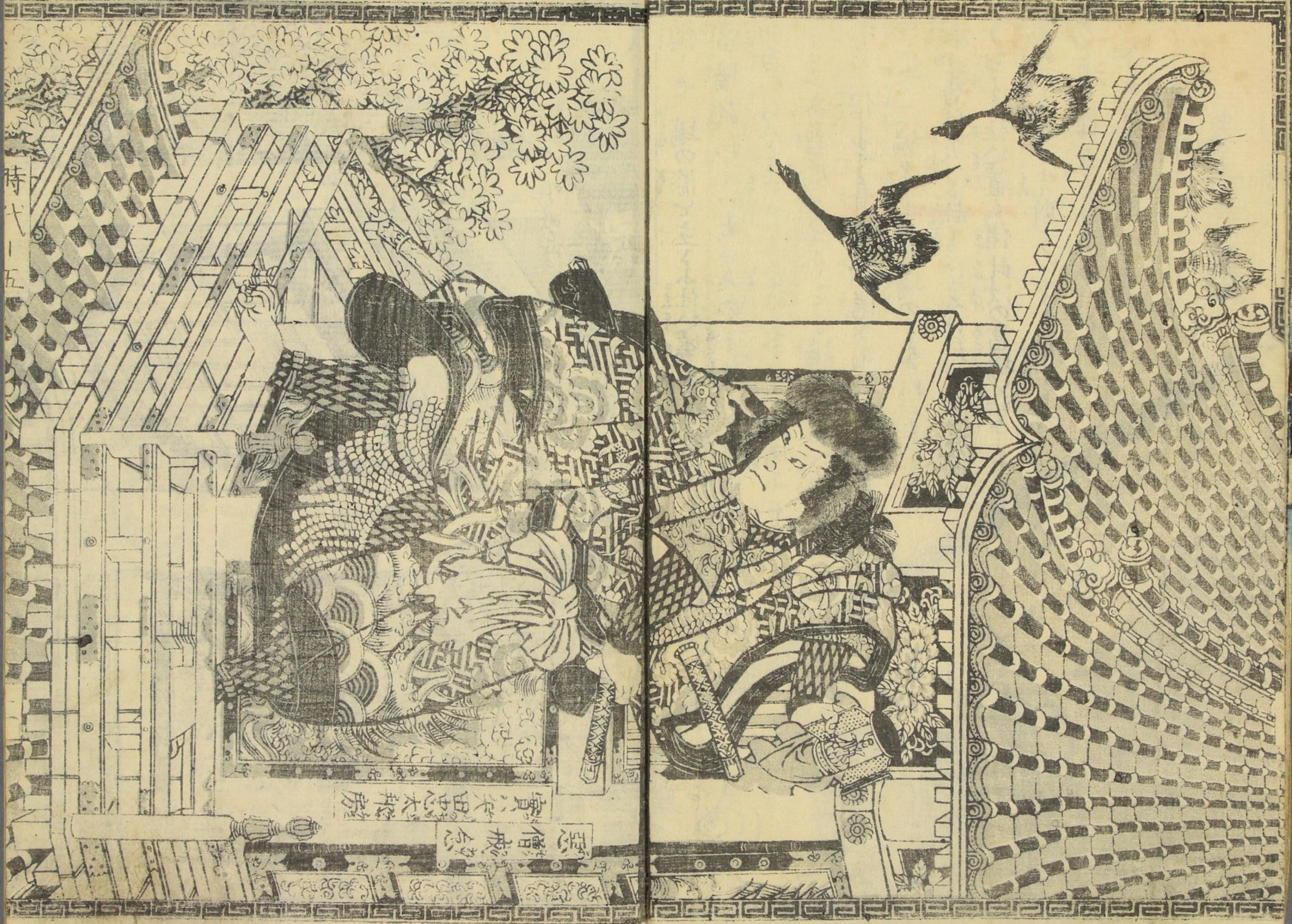
總して一場の條と立ふ仕込場當場結場あり仕込場ハ
 當場紙のつゝいまゝの下の下染ぬれは是より先の
 面白からんと看官も念つてなれと結場ふ至りてハ
 見申その首尾と結合せる場あるや作者の
 意方一倍して春官の稍倦るものなり然る紙
 花の香は失へし趣もつゞきけれども結ぶ
 仕置の諸此の當場とあるを
 見外なる先斯うのやハ措きの
 夫とて復當ふせられそ

午の春新販

爲永
 春水誌

時代十五

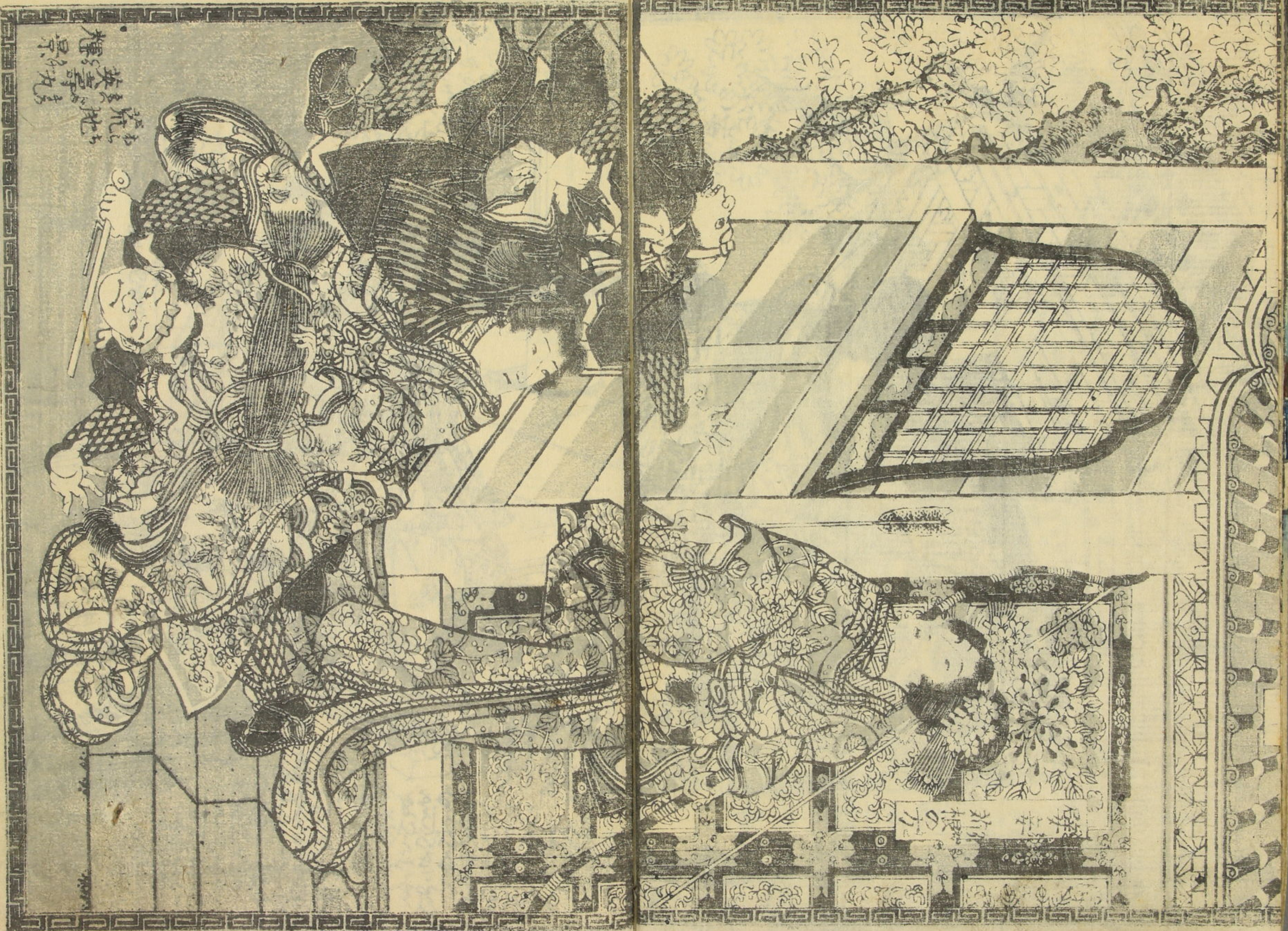




實 安田忠太郎

惡僧戒念

時 十一



英多
荒地
標景

築
新
加
根
の
方



あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は

あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は

あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は

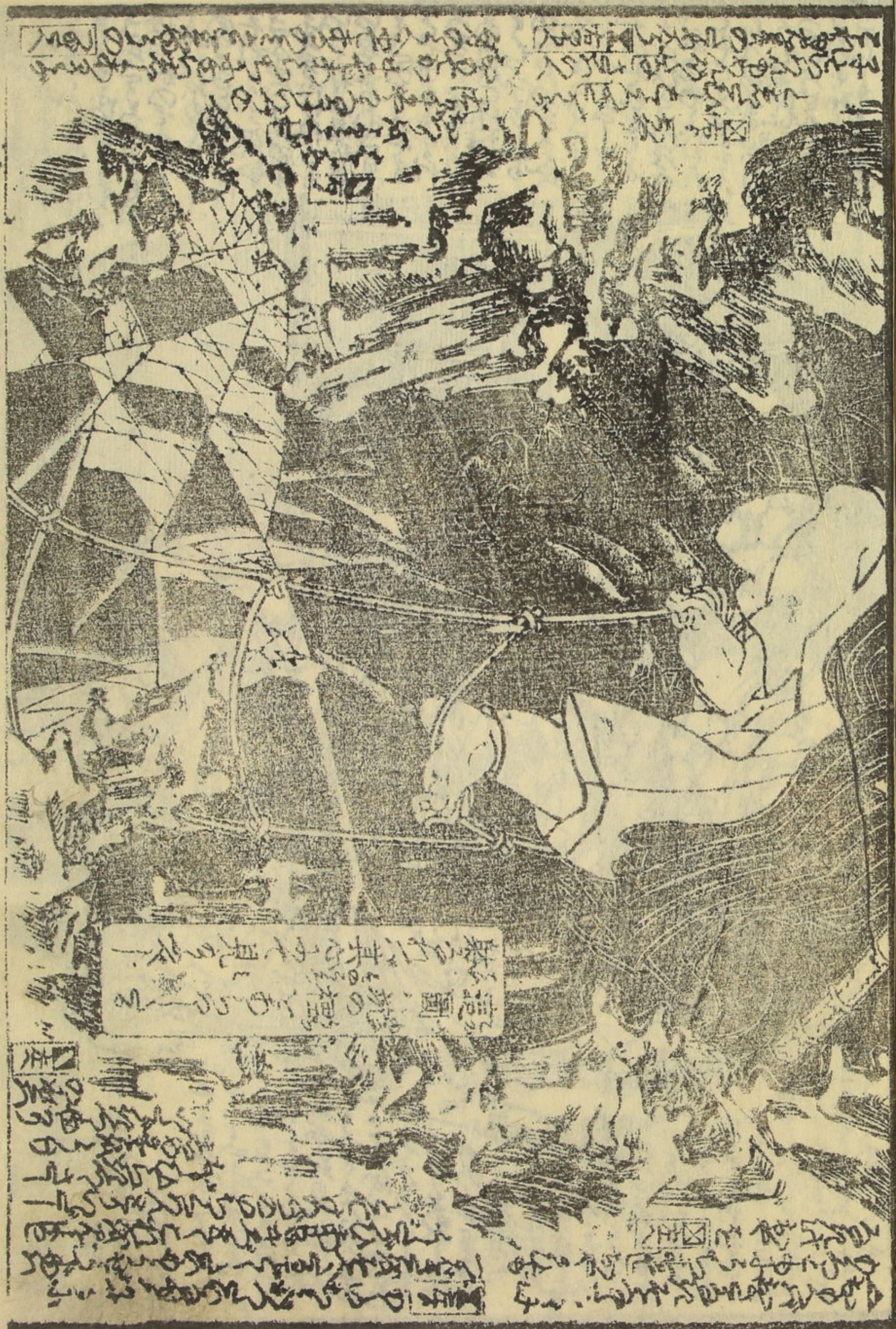
寺
七
一
五



あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は

あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は
あつちの山は

甲
八
十
七



Handwritten Japanese text at the top of the left page, including the characters '志圖' (Shi-e) and '標' (shirushi).

志圖 標
琴之に其のて果る多し

Handwritten Japanese text at the bottom of the left page, including the characters '志圖' (Shi-e) and '標' (shirushi).



Handwritten Japanese text at the top of the right page, including the characters '志圖' (Shi-e) and '標' (shirushi).

志圖 標
Handwritten Japanese text at the bottom of the right page.

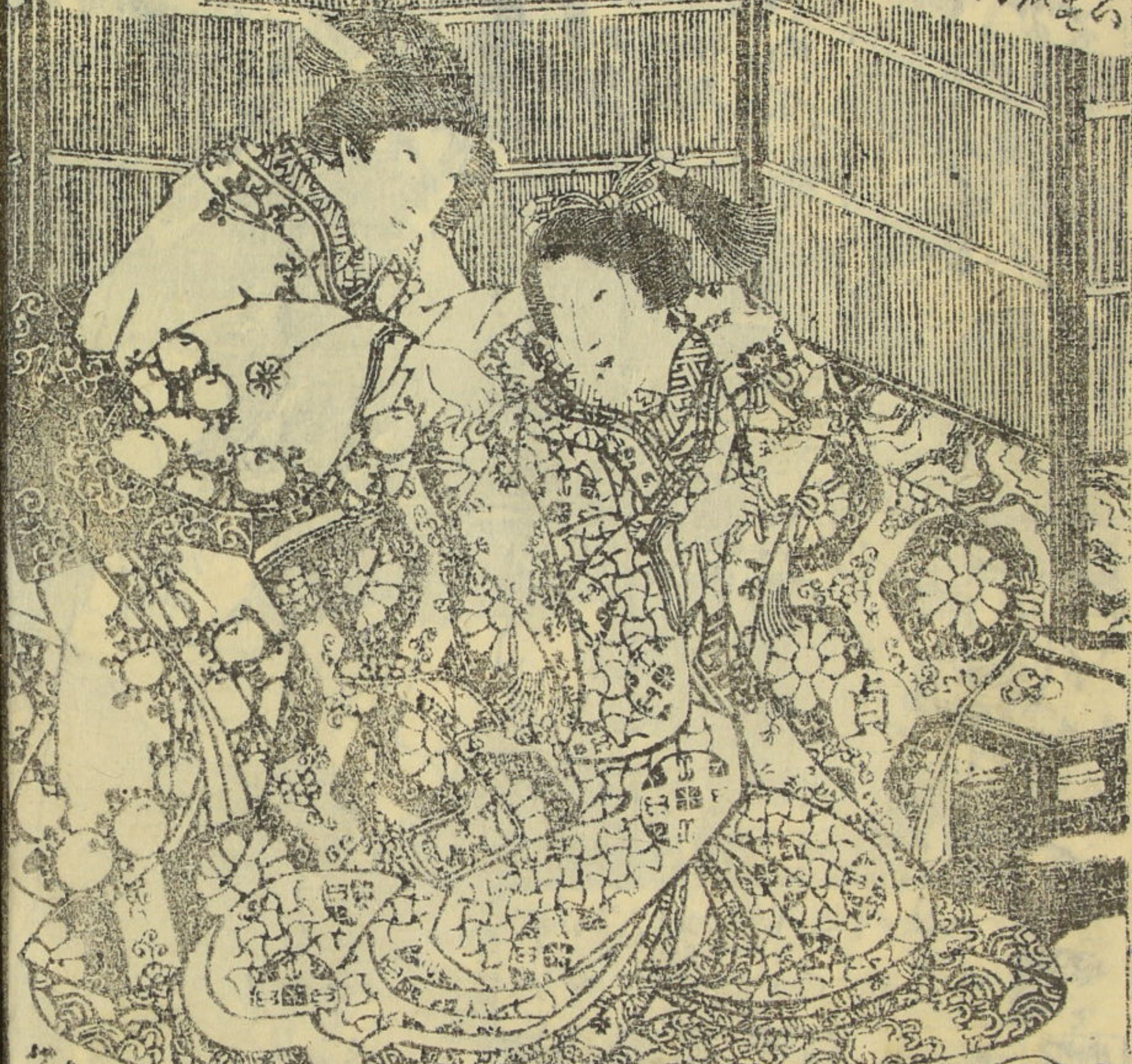
Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a preface or commentary.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, continuing the commentary.

寺ノ...

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page.

月ノ...



春水作國貞画

風流画半切

越前奉書紙
伊豫奉書紙

○縮山一内半切
○えむ一内半切

狂齋百圖全

洞部画

上 所帰久月

中七摺乃は巻物
計り入るる巻物

忠臣義士銘傳

一極齋若虎画

おまのうゝあねてんをさふ
をふまきさぬの作畫とあ
佐多画工の文よりくおま
わすく帯一たるこ上衆
の美冊とりのひさう(実)
おまひひさうのれきさ
おまひひさうのれきさ

この包
格きのり
中七摺乃は巻物
計り入るる巻物

右の大徳繪二切のすけ
形画ゆへ他他ふかしく
之を極齋若虎画とす
之を極齋若虎画とす
之を極齋若虎画とす

當年
新板
高ぶ六

糸のき絵
子代紙

御年表の進物箱に入らう入
此の糸のき絵の巾着

若林堂藏

